



かしわざき

KASHIWAZAKI

平成 29 年 11 月 20 日 発 行

No. 170

発行
柏崎市議会
印刷
(株) 小 田

市議会だより

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.lg.jp>



主 要 内 容

- 平成28年度決算…………… 2～5 P
- 9月定例・8月随時会議…………… 6～7 P
- 議決一覧・議案賛否…………… 8～9 P
- 常任委員会報告…………… 10 P
- 一般質問…………… 11～19 P
- 政務活動費視察報告…………… 20～21 P
- 常任委員会行政視察…………… 22 P
- 政策検討会議ほか…………… 23 P
- 全員協議会・編集後記ほか…………… 24 P

柏崎市の発展のため、市民の福祉向上のため、どうしたらよいか真剣に考えている子供たちを見て、とてもほほ笑ましく、そして、心強く感じました。

柏崎市の発展のため、市民の福祉向上のため、どうしたらよいか真剣に考えている子供たちを見て、とてもほほ笑ましく、そして、心強く感じました。

小学生お仕事体験塾
に参加しました

8月20日(日)にアルフォーレで開催された「お仕事体験塾」に、昨年に引き続き柏崎市議会として参加しました。

当日は、6年生を中心に39人の子供たちから、「子ども議会」を体験してもらいました。



平成28年度一般会計の決算を賛成多数で認定

9月定例会議

9月定例会議は、9月5日から10月10日まで行われました。

審議した案件は、市長提出議案38件、議員提出議案5件、請願2件で、全議案を原案可決（認定、同意、採択等）しましたが、平成28年度一般会計の決算認定においては、附帯決議を付しました。

一般質問には議員16人が登壇し、市長、教育長等の考えをいただきました。（詳細は11ページから掲載）

議案審査では、「旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定」を初め、補正予算、「学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」などを審議しました。

なお、平成28年度一般会計、各特別会計の歳入歳出認定については、決算特別委員会（総務・文教厚生・産業建設分科会）を設置し、集中審査を行いました。（詳細は4ページから掲載）

一般会計の決算認定 に対する附帯決議

組織を挙げて不祥事の再発防止に全力で取り組み、一刻も早い市民の信頼回復を図るよう強く求めるため、全会一致で附帯決議を可決しました。

【附帯決議の要旨】

▼一般会計歳入歳出決算における出張旅費に関して、複数の職員が東京方面への出張時、高速バスを利用しながら、新幹線利用で計算され、事前に受け取った旅費を精算しなかったことが発覚。

▼発覚後、精算するとしているが、本決算時での使用経路は新幹線のままである。市職員として不適切な行為であると言わざるを得ない。

▼不適切な事務処理が発生しており、市民の信頼を著しく損ねていることは甚だ遺憾。

▼市長は市職員一人一人にその職務の重みを再認識させ、綱紀粛正に万全を期し、より一層の公務員倫理の確立を図るとともに、組織を挙げて不祥事の再発防止に全力で取り組み、一刻も早い市民の信頼回復を図るよう強く求める。



私学助成の意見書を賛成多数で可決

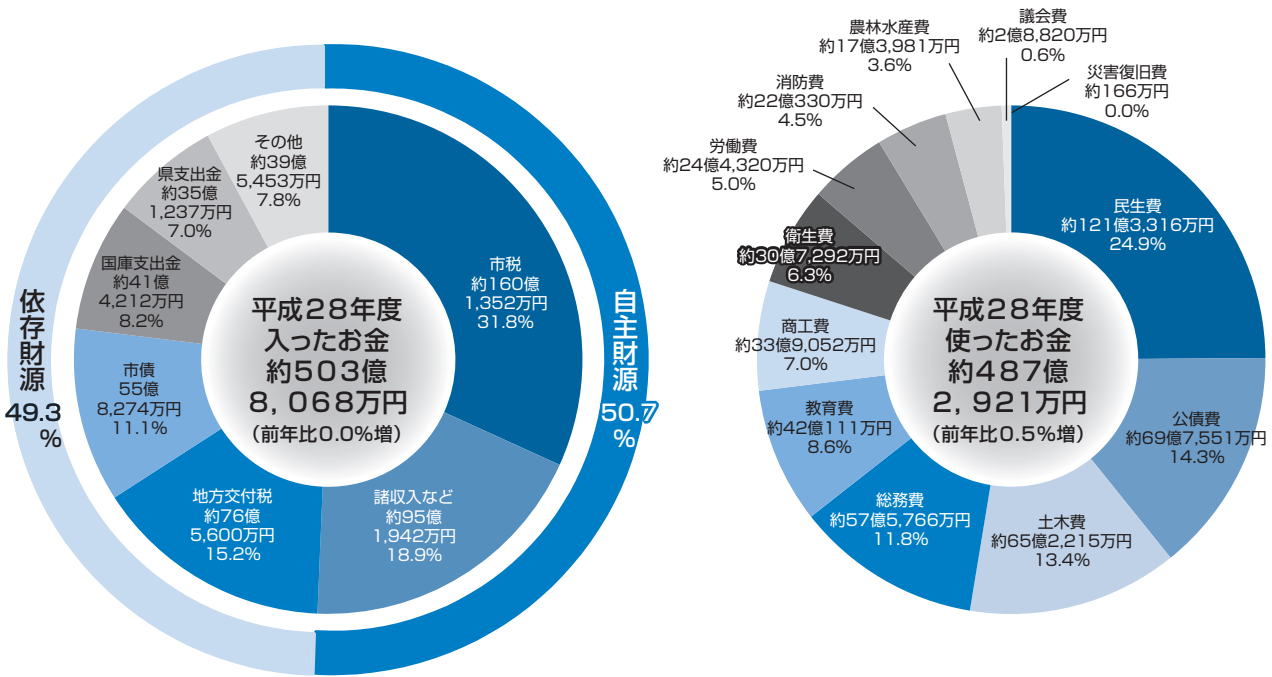
※1 「附帯決議」とは

審議の対象である事件（議案等）に当たって、議案を提出してきた市長に対し、議会の意思（意見や要望）を表明する場合にこの附帯決議を可決します。

この決議によって、市長は意見等を尊重する政治的、道義的な責務を負うこととなります。



平成28年度一般会計決算（構成・目的別）



※表示は万円未満四捨五入のため、積み上げと合計が一致しない場合があります。

平成28年度一般会計・特別会計歳入歳出決算

(単位：千円)

会計名		歳入	歳出	認定の賛否など			
一般会計		50,380,685	48,729,208	賛成 22	反対 1	退席 1	欠席 1
特別会計		20,628,650	20,127,148	—			
内訳	国民健康保険 (事業勘定)	10,623,722	10,234,587	賛成 22	反対 1	退席 1	欠席 1
	国民健康保険 (直営診療施設勘定)	381,627	381,625				
	後期高齢者医療	832,205	831,115	賛成 24	反対 0	退席 0	欠席 1
	介護保険	8,606,932	8,496,027	賛成 24	反対 0	退席 0	欠席 1
	土地取得事業	166,262	166,262	賛成 24	反対 0	退席 0	欠席 1
	墓園事業	17,903	17,532	賛成 24	反対 0	退席 0	欠席 1
合計		71,009,335	68,856,355				

※表示は千円未満四捨五入のため、積み上げと合計が一致しない場合があります。

※議長は採決に加わりません。



一般会計の決算認定に対する討論

賛成

反対

▼財政の健全運営を目指すことは当然のこと。これからも無駄を省き、市民の目線に立ち、適正な予算執行を行ってほしい。

▼将来の安心・安全なまちづくり、市民の福祉の向上に資する財源など、将来にわたる安定的な財政運営が行えることを望む。

▼全ての市の制度、事業、補助金給付など、その制度等を知らないがために、市民がサービスを受けられなかったということがないように、事業執行に当たっては、丁寧な周知や相談などを今後とも要望する。

▼市職員の不祥事により、市民の信頼が薄らいでいる。確実な再発防止を図り、より一層のコンプライアンスと公務員倫理の厳正な保持を徹底し、信頼回復に努めてほしい。

▼柏崎市のすばらしさを市民及び全国に発信していく取り組みを組織一丸となって、さらに力を入れていただきたい。

▼平成 28 年度の収入総額は 503 億 8 千万円、歳出総額は 487 億 2 千万円で、10 億円を超える赤字。財政困難との声はあるが、一定の余裕があることを意味するもの。予算を効果的に有効に活用して、もつと市民の要望にこたえることが重要であり、市民の要望に応え切れていない。

▼財政分析に当たって、経常収支比率が引用されており、70～80%が望ましいとされているが、これを固執しようとする、市民サービスの大幅なカットや職員定数を大幅に減らすこととなり現実的ではない。経常収支比率の見方を変える必要がある。

▼市債を減らすことが重要であることは言うまでもないが、一方で、地域経済・景気対策との関係で適債事業は必要。市民の安心・安全を向上させる防災対策や側溝整備など、身近な環境整備には積極的に対応することが求められる。

▼予算の使い方が消極的。

決算特別委員会の各分科会において決算の集中審査を行いました

総務分科会（委員 8 名）

総務分科会では、一般会計の歳入及び歳出の総務費、衛生費、消防費などの決算を審査しました。

審査では、実施した事業に対して質疑や確認を行った結果、次の意見などがありました。

▼消費トラブル対策で、詐欺防止用通話録音装置のさらなる活用が必要。

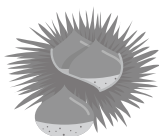
▼消防団の装備の早期拡充と、家庭用省エネ、創エネについて助成額等導入促進策を検討すべき。

▼コンプライアンス推進について、職員のさらなる意識の向上、特に SNS の取り扱いについて注意いただきたい。

▼財政指標の健全化及び収納率の向上についてさらに努力すべき。

また、決算審査の前日は、斎場と消防署西分署の現地視察を行いました。

斎場の修繕や大規模改修がどのように実施されたのか、また、消防署西分署が移転したが、それに伴い業務が改善され、市民サービスの向上につながったのかなどを、担当職員とともに現地を確認しました。



消防車等の出動について説明を受ける議員

▼決算特別委員会

- 委員長 荒城 彦一
- 副委員長 村田幸多朗

▼総務分科会

- 分科会長 与口 善之
- 副分科会長 三宮 直人
- 委員 重野 正毅
- 柄沢 均
- 笠原 晴彦
- 布施 学
- 相澤 宗一
- 若井 恵子

▼文教厚生分科会

- 分科会長 飯塚 寿之
- 副分科会長 阿部 基
- 委員 五位野和夫
- 矢部 忠夫
- 村田幸多朗
- 荒城 彦一
- 星野 正仁
- 丸山 敏彦

▼産業建設分科会

- 分科会長 佐藤 和典
- 副分科会長 上森 茜
- 委員 佐藤 正典
- 春川 敏浩
- 若井 洋一
- 真貝 維義
- 三井田孝欧
- 斎木 裕司

文教厚生分科会 (委員 8 名)

文教厚生分科会では、一般会計の歳出の民生費、教育費などの決算を審査しました。

▼審査では、実施した事業に対して質疑や確認を行った結果、次の意見などがありました。

▼当初予算審議の際に指摘した市民の暮らしを助けていくという面で取り組みが不十分。

▼前進している事業もあり評価はするが、経済状況が好転していない中においては、市民の負担軽減に積極的に取り組むべき。

▼就学支援事業では、さらなる負担軽減策に取り組むべき。

▼学校現場ではマンパワーがまだまだ必要であり、不十分であることが示された。拡充の必要性を求める。

▼介護人材確保の取り組みに当たり、人材不足の分析が弱い。そのため認識を改め事業に取り組むよう要望したい。

また、決算審査の前日には、陸上競技場、駅前公園テ

ニスコート及び田尻小学校内にある児童クラブを視察しました。

陸上競技場と駅前公園テニスコートでは、整備内容の確認を行い、整備後の利用者の声などを担当職員に確認しました。

児童クラブでは、利用している児童の現状や運営状況を確認しました。



陸上競技場の整備状況を確認する議員

産業建設分科会 (委員 8 名)

産業建設分科会では、一般会計の歳出の労働費、商工費、土木費などの決算を審査しました。

▼審査では、実施した事業に対して質疑や確認を行った結果、次の意見などがありました。

▼北陸新幹線観光誘客事業については、デジタルサイネージにおいて評価すべき数値を得ていなかったことが残念。

▼柏崎の魅力再発見事業の目的はおもてなしの心を醸成するところだが、この事業によって地域の人におもてなしの心が醸成されたとは言えない。

▼フロンティアパークについては、企業立地推進員との連携を密にしながら成果を出すことが重要。

▼多面的機能支払交付金事業については、交付数がふえているということは集落維持ができなくなってきたということである。抜本的対策がないと集落の維持は難しい。
▼道路除排雪経費について

は、オペレーターの増員を図るなどの対策が必要。

また、決算審査の前日には、じよんのび村源泉ポンプ場及び萬歳楽(宿泊施設)を視察しました。

源泉ポンプ場では、ポンプの稼働状況の確認、萬歳楽では、改修した客室の床を確認しました。



源泉ポンプの稼働状況を確認する議員

公企業会計決算 (4 件)
全会一致で認定

市長から9月定例会議の初日の9月5日に、平成28年度
のガス事業会計、水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計、いわゆる地方公企業の4つの会計について、監査委員の意見を付して決算の認定議案が提出されました。

議会では、この議案を産業建設常任委員会に付託し、9月13日に決算審査を行いました。なお、資本剰余金の処分1件、未処分利益剰余金の処分3件の議案についても、決算とかかわりがあることから、同委員会に付託され、審査を行いました。

委員会での審査の結果、全ての決算について、全員異議なく認定すべきものとなりました。また、資本剰余金及び未処分利益剰余金の計4件の議案についても、全て原案のとおり可決すべきものとなりました。

この委員会審査結果を受け、9月22日の本会議において、全会一致で決算及び議案について、認定及び可決しました。





平成28年度決算一般会計
施策・事務事業評価を議会で取り組みました

柏崎市議会では平成28年度決算審査において、次の3つの市の主要施策について、決算特別委員会の3つの分科会（総務・文教厚生・産業建設）で具体的に評価し、決算特別委員会を経て、最終的に本会議の場で報告しました。
この取り組みは、昨年の事務事業評価を、より広い視野で市が執行した事務を議会で評価し、翌年度以降の施策実現と政策実現に向けた事業の見直し等を提案することを目的としたものです。



市長へ評価結果を手渡しました

分科会名	評価対象施策	評価対象事務事業
総 務	公共交通ネットワークの構築	路線バス確保事業
		鉄道等活性化事業
文教厚生	高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	介護従事者人材確保・育成支援事業
		介護職員就職支援事業
産業建設	市民交流観光の推進	北陸新幹線観光誘客事業
		かしわざき魅力再発見・誘客推進事業

9月議会では、平成28年度決算認定のほかに、補正予算や条例の一部改正などの議案を審議し、原案のとおり可決しました。主なものは次のとおりです。

一般会計補正予算
(第6号・第7号)

市長から、一般会計について、第6号及び第7号の2件の補正予算議案が提出され、議会は全会一致でこれを可決しました。

柏崎市の一般会計予算は、総額49億2,463万7,200円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

▼産業文化会館施設整備事業（非常用発電装置の入れかえに係る不足分を措置）
966万4千円

▼柏崎シティセールス推進事業（転出・転入者を対象としたアンケート調査の集計・分析及び首都圏向けの移住ガイドブックを作成するための委託料）
194万4千円

▼訪問入浴サービス事業（サービスの利用量増加に伴う委託料の不足分を措置）
139万6千円

▼老人保護措置委託事業（高齢者虐待により緊急保護した措置入所者の長期化に伴う委託料の不足分を措置）
165万円

▼総合福祉センター整備事業（老朽化による非常用放送設備の改修工事費）
420万円

▼キャリアアップ支援事業（看護師の市内就業の促進・定着を図るため、認定看護師の資格取得を支援する病院に交付する補助金）
103万5千円

▼斎場施設整備事業（老朽化による放送設備の改修工事費）
475万円

▼多面的機能支払交付金事業（今年度の活動組織の取り組み面積が決定したことに伴う、農地維持支払交付金の減額及び資源向上支払交付金の増額）
3013万9千円

▼小規模急傾斜地崩壊防止事業（7月3日に発生した大雨により崩落した市有地のり面の復旧工事費）
4100万円

▼県立アクアパーク整備事業（50メートルプール床タイルの修繕料）
680万4千円

▼体育施設備品購入事業（アクアパークの水球得点板2台を購入）
1944万円

▼道路橋りょう災害復旧事業（7月3日に発生した大雨災害による市道柏崎8-139号線ほか6路線の復旧経費）
1億4610万円



被災状況を上空から撮影（東の輪地区）



税条例等の一部を改正する条例の制定

この改正は、地方税法の改正に伴うものです。

主な改正内容は、平成31年10月から県税である自動車取得税が廃止されるため、軽自動車税に環境性能割が創設されます。

また、平成31年1月から控除対象配偶者の定義が変更されるため、個人市民税の所得割の非課税の範囲等の規定が改正されます。

市民活動センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

この改正は、市民活動センター「まちから」を来年度から指定管理者による管理を行わせるために、利用料金の設定や減免規定の追加など行ったものです。



柏崎市議会議員定数を適正化するよう求める請願を全会一致で採択

8月14日に、柏崎市議会議員定数を適正化するよう求める請願が議長に提出され、同日受理されました。

この請願の趣旨を確認するため、9月20日に議会運営委員会を開催し、請願者から趣旨説明を受けました。その結果、この請願を採択すべきものとなりました。

この委員会審査結果を受けて、9月22日の本会議において、全会一致で採択しました。なお、委員会での主な質疑などは次のとおりです。



請願者からの説明を聞いている議員

▼請願の趣旨・意味するところは何か。市議会議員定数についての議論を進めていただきたいというところに重きがあるのか。

▼議会みずからが研さんを積んで、どのような議会を目指すのか。については、どれくらいの定数が必要なのかを議論し、それを市民へ報告してもらいたい、と言いかえてもよいか。

▼請願の内容の中で、柏崎市の人口減少と市職員の適正数の検討に触れ、さらに、全国市議会議長会の平均的な議員数のデータを示されていることから、ややもすれば議員定数の削減を求めていると読み取れる部分もあるが、それは含んでいないと考えてよいか。

8月随時会議

8月10日随時会議を開催しました。審議した案件は、市長提出議案2件と議員提出議案2件で、全て全会一致で原案可決しました。

可決した議案の内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算(第5号)

▼コミュニティセンター整備事業(コミュニティセンター4カ所に太陽光発電設備等を設置するための実施設計委託料) 1000万円

▼収納業務経費(法人市民税の歳出還付金及び還付加算金に不足が生じたことによる増額) 7500万円

▼じよんのび村管理費(源泉の揚湯ポンプ据付位置変更等に係る経費) 336万2千円

駅前ふれあい広場を減額して貸し付け

駅前ふれあい広場用地の一部、7745.95平方メートルを株式会社植木組に、平成29年度及び平成30年度は1036万6800円で、平成31年度から平成59年度までは、固定資産税評価額を基準として、市が算定した額と株式会社植木組が提案した額と株貸し付け料のうち、高い方の額から103万3200円を控除した額に減額して貸し付けを行う議案を全会一致で可決しました。



ガス水道局から見た駅前ふれあい広場



9 月定例会議 議決一覧

議員提出議案		
件名	議決状況	議決結果
軍事的挑発を繰り返す北朝鮮を非難し、拉致問題の早期解決を求める決議(案)	全会一致	原案可決
道路財特法による補助率等のかさ上げ措置に関する意見書(案)	〃	〃
承第5号 決算の認定について(平成28年度一般会計)に対する附帯決議(案)	〃	〃
学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(案)	賛成多数	〃
学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(案)	〃	〃

請願・陳情		
件名	議決状況	議決結果
柏崎市議会議員定数を適正化するように求める請願	全会一致	採 択
「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願	みなし	〃
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	—	報 告
地球上で生き続ける為の地球社会建設希望決議を、今、して頂きたい陳情	—	〃

8 月随時会議 議決一覧

市長提出議案		
件名	議決状況	議決結果
平成29年度一般会計補正予算(第5号)	全会一致	原案可決
財産の減額貸付について(土地)	〃	〃
専決処分報告について(平成29年度一般会計補正予算(第4号))	—	報 告
専決処分報告について(自動車事故による和解及び損害賠償額の決定について)	—	〃
専決処分報告について(企業振興条例の一部を改正する条例)	—	〃
専決処分報告について(市営住宅条例の一部を改正する条例)	—	〃

議員提出議案		
件名	議決状況	議決結果
決算特別委員会設置についての決議(案)	全会一致	原案可決
新庁舎建設特別委員会設置についての決議(案)	〃	〃


※ 議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書(案)が議員から発案され、意見書(案)を先に採決しましたので、その議決結果をもって請願が採択または不採択されたものとみなします。
 ※ 陳情は、議会に報告するのみで、審議はしていません。

議員賛否一覧 (9月定例会議の採決において賛否が分かれた議案)

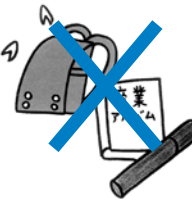
	佐藤正典	重野正毅	五位野和夫	持田繁義	阿部基	三宮直人	上森茜	柄沢均	笠原晴彦	春川敏浩	布施学	相澤宗一	佐藤和典	与口善之	飯塚寿之	若井洋一	矢部忠夫	村田幸多朗	加藤武男	荒城彦一	若井恵子	真貝維義	星野正仁	三井田孝欧	齋木裕司	丸山敏彦
学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(案)	○	○	○	○	退	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×
学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(案)	○	○	○	○	退	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	×	×	×	×	×	
決算の認定について(平成28年度一般会計)	○	○	×	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○	○	○	○	
決算の認定について(平成28年度国民健康保険事業 特別会計)	○	○	×	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○	○	○	○	

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 退は退席 加藤武男議長は採決に加わりません。


～市議会議員は次のような行為が法律で禁止されています～
皆様のご理解をお願いします




年賀状などの
時候のあいさつ状



卒業祝・入学祝



お中元・お歳暮や
お年賀



結婚祝・香典
(本人出席を除く)



祭りや旅行などの
差し入れ



9 月定例会議 議決一覧

市長提出議案		
件名	議決状況	議決結果
平成29年度一般会計補正予算(第6号)	全会一致	原案可決
平成29年度一般会計補正予算(第7号)	〃	〃
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
平成29年度ガス事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
平成29年度水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
平成29年度下水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	〃	〃
税条例等の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
市民活動センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
高齢者用冬期共同住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
高齢者生活支援施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
ふるさと人物館設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	〃	〃
ふるさと体験村設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
特別職の給与に関する条例及び特別職の職員の退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
平成28年度ガス事業会計資本剰余金の処分について	〃	〃
平成28年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃
平成28年度工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃
平成28年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃
字の変更について(西山内郷地区(伊毛換地区))	〃	〃
市道路線の廃止について	〃	〃
市道路線の認定について	〃	〃
決算の認定について(平成28年度ガス事業会計)	〃	認定
決算の認定について(平成28年度水道事業会計)	〃	〃
決算の認定について(平成28年度工業用水道事業会計)	〃	〃
決算の認定について(平成28年度下水道事業会計)	〃	〃

市長提出議案		
件名	議決状況	議決結果
決算の認定について(平成28年度一般会計)	賛成多数	認定
決算の認定について(平成28年度国民健康保険事業特別会計)	〃	〃
決算の認定について(平成28年度後期高齢者医療特別会計)	全会一致	〃
決算の認定について(平成28年度介護保険特別会計)	〃	〃
決算の認定について(平成28年度土地取得事業特別会計)	〃	〃
決算の認定について(平成28年度墓園事業特別会計)	〃	〃
教育委員会委員の任命について	〃	同意
固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	〃
人権擁護委員候補者の推薦について	〃	〃
人権擁護委員候補者の推薦について	〃	〃
平成28年度水道事業会計継続費精算報告書	—	報告
平成28年度下水道事業会計継続費精算報告書	—	〃
平成28年度ガス事業会計に係る資金不足比率報告書	—	〃
平成28年度水道事業会計に係る資金不足比率報告書	—	〃
平成28年度工業用水道事業会計に係る資金不足比率報告書	—	〃
平成28年度下水道事業会計に係る資金不足比率報告書	—	〃
平成28年度決算に基づく健全化判断比率報告書	—	〃
公益財団法人かしわざき振興財団経営状況報告書	—	〃
株式会社じよんのび村協会経営状況報告書	—	〃
株式会社柏崎ショッピングモール経営状況報告書	—	〃
株式会社カシックス経営状況報告書	—	〃
平成28年度柏崎市教育委員会点検・評価報告書	—	〃
専決処分報告について(道路上の事故による和解及び損害賠償額の決定について)	—	〃
専決処分報告について(自動車事故による和解及び損害賠償額の決定について)	—	〃
専決処分報告について(平成29年度一般会計補正予算(第8号))	—	〃

常任委員会からの報告

市長から提案された議案や報告事項は、所管の常任委員会で審査・質疑を行います。
9月定例会議の委員会や委員協議会で、特に質疑があった項目（議員からの質疑のみ）の一部を紹介します。

総務常任委員会

■一般会計補正予算

- 避難者見守り支援事業について
 - 東日本大震災の被災者見守り支援事業に期限があるのかどうか
 - この事業の継続に当たって、どのような課題があるのか
- 産業文化会館施設整備事業について
 - 非常用電源の入れかえ工事で低騒音型への変更のため追加予算が措置されたが、騒音規制に適合させるためとは当初不明だったのか
 - 新たな問題が生じて騒音規制に適合させる必要が生じたのか

■防災・原子力課からの報告事項

- 洪水に関する避難勧告が発令された場合、指定された避難場所に避難できない場合があるのではないか
- 避難勧告の対象となる世帯への周知はされているのか
- 対象区域に住む高齢者などの要支援者の情報は把握され、支援等に遺漏はなかったのか

文教厚生常任委員会

■一般会計補正予算

- 県立アクアパーク整備事業及び体育施設備品購入事業について
 - アクアパークの施設改修、備品購入については、県の負担割合について、協議しているのか
- 認定看護師資格取得支援事業補助金について
 - 事業の概要について
 - 事業の年度途中でも申請があれば予算対応するのか
 - 市内の全ての病院、個人医院が対象となるのか
- 高齢者虐待等やむを得ない事由による措置入所委託料について
 - 措置入所の近年の傾向、虐待の原因について
 - 措置入所以降の支援はどうなっているのか
 - 虐待予防の取り組みはどうなっているのか
- 総合福祉センター整備事業について
 - 老朽化している総合福祉センターだが、今後の改修、改築計画はあるのか

産業建設常任委員会

■一般会計補正予算

- 柏崎シティセールス推進事業について
 - 職員の人事異動が行われ組織体制が大きく変わったが、業務を進める上で対外的な影響はないか
 - 誰をターゲットにするのかなど、先に戦略を決めてから進めていく必要があるのではないか
- 小規模急傾斜地崩壊防止事業について
 - 災害復旧の原則は災害箇所の原状回復だが、本事業における周辺地域の補強や防止工事はどのようなになっているのか

■産業振興部からの報告事項

- シティセールス行動計画第一次版について
 - 柏崎ファンクラブの目的は会員の拡充ではない。会員みずからがセールスパersonになることができる場をつくり、その活動を後押しする仕掛けが必要ではないか
 - 結果や成果が見えるようにするために、行動計画はどのようなステップを踏みながら進めるのか
 - 子供のころからの地元教育は大切。シティセールスの重要性は教員に伝わっているのか